

総務建設委員会

総務建設委員会に付託された議案は4件。

9月9日に開催し、審査を行いました。

議案

◆議案第53号

「弥富市議会の議員及び弥富市長の選挙における自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について」

他自治体でも同様に改正されているのか。

答 多くの自治体が公職選挙法施行令に準じて、条例の改正を行っており、今回も本市と同様に改正を行うものと思われる。



金額の根拠は。

答 国において、最近の物価の変動や消費税増税（令和元年10月施行の8%から10%）を踏まえて見直しがあった。

◆議案第54号

「弥富市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について」

育児休業の取得率は。

答 女性は100%。男性は、62.5%（8名中5名取得）。

取得率を上げるための目標と対策は。

答 愛知県職員の数値である「令和7年度までに50%以上」という数値を参考とした。男性の育児参加への意識付けを図っていく。



総務部所管質問

東末広の残土問題は和歌となるが、市として責任は感じているか。

答 和解の成立に向けて進めていくので、責任の所在についての回答は差し控える。

再びこのようなことが起こらないよう対策を考えているか。

答 工事を担当する職員の知識と技術力の向上に努めていく。

市民の被害を防ぐための残土条例を考えているか。

答 先進自治体や近隣自治体を調査研究していく。

第2次弥富市総合計画後期基本計画の策定方針は。

答 庁内体制の中で調査研究等を行い、審議会で審議委員の専門的知見や市民目線等を踏まえ、より市民にわかりやすい計画を策定する。

建設部所管質問

農福連携の進捗は。

答 福祉課が海部南部障がい者自立支援協議会にて、農福連携を議題とする協議の準備をしている。

弥富市都市計画審議会委員に、いつ大学教授や研究者など都市計画の専門家を委嘱するのか。

答 5月1日より弥富市都市計画審議会委員に、学識経験者として大学教授を委嘱している。

名古屋都市計画道路及び名古屋都市計画交通広場の変更までの経緯は。

答 県の都市計画道路見直し方針に基づき、本市も関係市町村と調整を図りながら検証し、弥生通線と中央通線の2路線を廃止する方針とした。

弥富駅北口駅前広場は、弥富駅北口交通広場として新たに都市計画決定した。

弥富駅周辺地区のまちづくりの経緯と計画の整合性は。

答 駅周辺地区の整備範囲や将来イメージを検討し、将来へ向けての段階的な整備構想を見据えた、より現実性のある範囲を検討した。第2次弥富市総合計画において、弥富駅周辺地区は交通結節点機能を主とし、多様な都市活動が展開される中心拠点に位置付けられている。



▲北口駅前広場イメージ

車新田地区のまちづくりの総合計画との整合性は。

答 第2次弥富市総合計画等の位置づけは、弥富駅周辺地区のまちづくりと同様であり、都市計画マスタープランでは市街地周辺利用調整エリアに位置付けている。

討論・採決

議案第53号に関して反対討論がありました。付託された議案は全て原案を了承しました。